

PLAN(計画)

自己評価

事務事業  
番号

25

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	学童保育所運営事業(放課後児童健全育成事業)					
予算科目	3	款	2	項	5	目
予算事業名	子育て支援事業					
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる					
担当課	福祉課	担当課長	國崎 和幸			
事業担当者	城戸 智美		一次評価者	阿部 哲也		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	児童福祉法、久山町学童保育所の設置及び管理に関する条例等					
事業の対象	久山町立小学校在学中の1年生から6年生までの昼間留守家庭児童(原則)					
事業の目的	久山町立小学校に通う児童で、昼間両親が共働き等の理由により、放課後帰宅しても保護者が不在である昼間留守家庭児童の健全な育成を図る。 保育ではなく、子どもの自主的な活動を支援する事業。					
実施期間	開始年度	平成 8 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	各校区の学童保育所(放課後児童クラブ)において、専任の指導員を配置し、昼間留守家庭の子どもたちの基本的な生活習慣の指導や、健康管理、安全確保、情緒の安定を図っている。					
目的達成の指標	活動内容満足度(%)					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度
	目標	人	80	80	80	80
	実績	人	71	77		
指標設定の考え方	運営主体が変わったことで活動内容の精査を行っているが、制度の過渡期でもあるため満足度を可視化し、目標数値まで上げられるよう研鑽する。					
事業遂行時懸案事項等						
事業実施時懸案事項対応等						

# PLAN(計画)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,352 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
事務量	① 人工数	0.36	0.35	0.35
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	2,657	2,572	2,518
事業費	直接事業費	12,881	16,950	
	人件費	2,657	2,572	2,518
	合計	15,538	19,522	2,518
財源内訳	国庫支出金	2,943	3,700	
	県支出金	2,943	3,700	
	地方債			
	その他		6,000	4,200
	一般財源	9,652	6,122	2,518
	合計	15,538	19,522	2,518

## 事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	12,881	16,950	0	0	
実績	15,223	16,951			

## 事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
入所児童数(久原小学童)	人	90	90		
※年平均		82	62		
入所児童数(山田小学童)	人	45	45		
※年平均		48	46		
待機児童数(久原小学童)	人	0	0		
		0	0		
待機児童数(山田小学童)	人	0	0		
		0	0		

# DO(実施)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,346 円  
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算
事務量	① 人工数	0.33	0.35
	② 人件費単価	7,129	7,350
	③ 補助事業人件費		0
	人件費(①×②-③)	2,352	2,572
事業費	直接事業費	15,223	16,950
	人件費	2,352	2,572
	合計	17,575	19,522
財源内訳	国庫支出金	3,509	3,700
	県支出金	3,509	3,700
	地方債		0
	その他		6,000
	一般財源	10,557	6,122
	合計	17,575	19,522

## 実施備忘録

--

自己評価	評価者	城戸 智美
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
<b>①有効性</b>		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
<b>②効率性</b>		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
<b>③公平性・透明性</b>		C
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

保育所ではないものの、利用者が重複するため、ニーズは増えており必要性は高い。  
民間事業者に委託して3年目を迎え、2校区を統一的に運営することによる支援員の組織体制づくりができ、情報の共有がスムーズになってきた。また、運営受託者と町の協議及びそれに保護者会との三者協議も前向きな協議ができており、今後も継続したい。  
また、学校長期休業中の開始時間を30分前倒しするにあたり、保護者の理解を得たうえで保育料のベースアップを行った。このことにより、課題であった受益者負担割合については少しではあるが改善できた。  
しかし、国の提示する受益者負担の基準(運営費の50%)には満たないため、保護者のさらなるニーズを満たす改善を行う際には、一般財源充当過多にならないよう受益者負担についても併せて検討していく必要がある。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

制度の過渡期にあり、専門性を要求されるようになった支援員の立場について、新制度前からの支援員には拒絶感や戸惑いがあったが、研修を受講してもらうことにより、意識改革にもつながる部分があり、改善点を前向きにとらえてくれるようになったことは評価できる。  
課題であったおやつについては、保護者会の決定を尊重することで、学校長期休業中のみの提供となった。内容については、これまでどおり「安い駄菓子でよい、なくしてよい」派と「高くてよいので質のよいものを」派で二分するニーズにどう対応していくか協議を要する。  
また、保護者会の役割について、当の保護者の理解度が低く、子どもと親の関わりが希薄になりつつある。ただ預けるだけでなく、年に1回程度保護者も参加いただける機会をもつなど、保護者会役員を通して、保護者会の存在意義についての理解を深めていきたい。

# CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	阿部 哲也
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ←→ 小 1 ↓

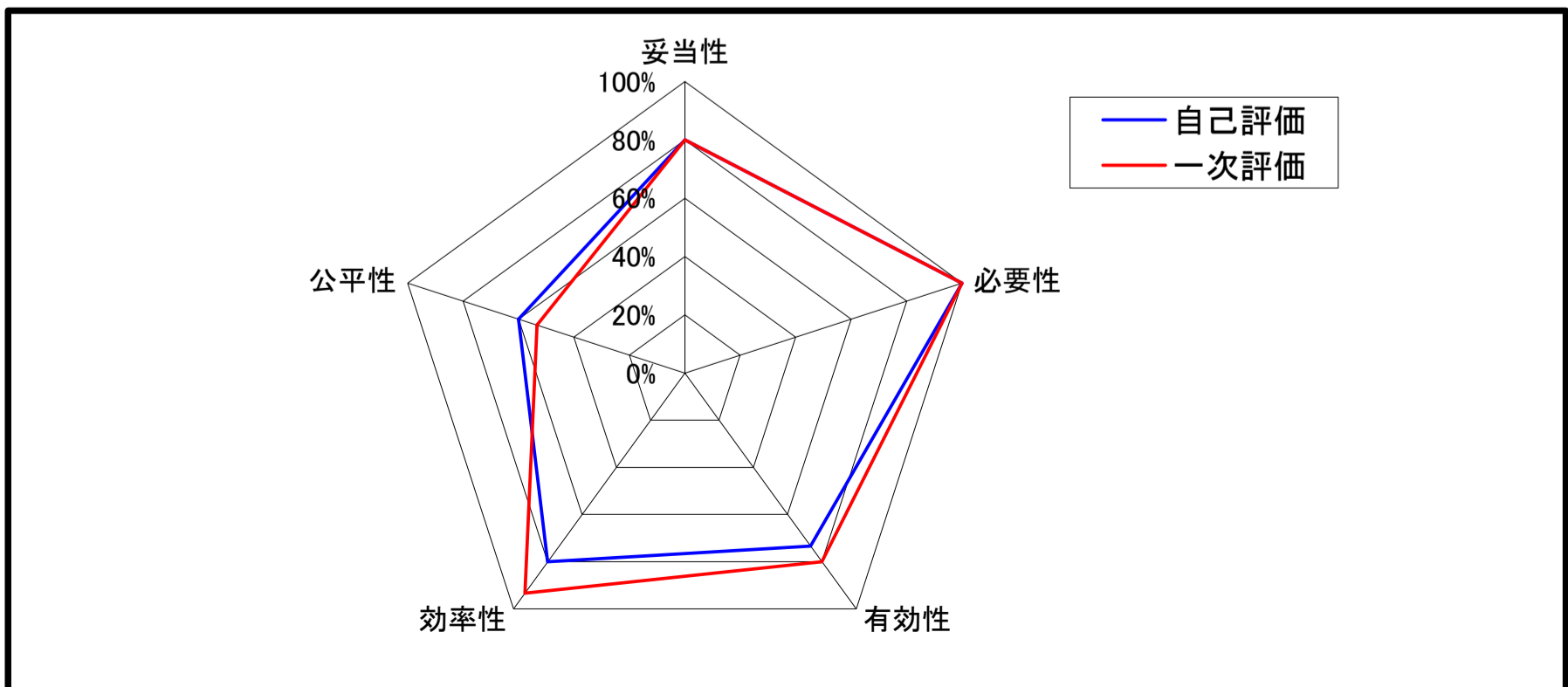
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		A
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		C
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	2	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

平成28年度から、2校区とも同一業者に民間委託しているため、情報共有等はスムーズになってきており、町・受託業者・保護者との関係もうまくいっている。  
平成30年度は、学校が長期休業の期間について開始時間の変更を行い、併せて保護者の理解も得て保育料のベースアップを行う等、担当が長年問題としていた受益者負担割合の改善を行えている。  
今後は、保護者の要望があがる等、対応する際に徐々に受益者負担増をしていくことが望ましい。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	國寄 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

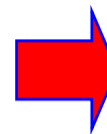
- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

事業の継続とともに保護者の新たなニーズにどう対応するか新たな課題として考慮していく必要がある。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、  
月 日  
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。  
月 日  
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了  
 外部評価へ

**事務事業の改善案**

手段	
内容	

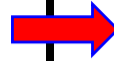
# ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.

## 外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

## 外部評価委員の意見

--

## 経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

## 経営者会議の評価

--